

研究課題名	中皮腫の新規診断・予後予測マーカーおよび治療標的候補の探索
研究期間	2026 年 10 月 16 日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象	2010 年 10 月 1 日 ～ 2025 年 12 月 31 日の間に広島大学原爆放射線医科学研究所腫瘍外科で中皮腫の治療を受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：中皮腫の発症や進行に関わる特徴的なタンパク質や分子を調べ、新たな診断法・治療法や予後を予測するための目印（マーカー）を見つけることです。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）から得られる治療歴や経過などのデータと、通常の診断や検査のために採取・保存されている生検組織（腫瘍の組織標本）の残余分を使用して、中皮腫に関わる分子の発現や分布を解析・比較します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、診断名、治療法、組織型（がんの種類・タイプ）、予後</p> <p>試料：通常の診断のために採取・保存されている生検組織（ホルマリン固定パラフィン包埋組織：FFPE 標本）の残余分</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科ゲノム口腔腫瘍学 教授 藤井万紀子</p>
利用または提供を開始する予定日	2026 年 10 月 16 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科ゲノム口腔腫瘍学 教授 藤井 万紀子</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や</p>

	<p>研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科ゲノム口腔腫瘍学 担当者：藤井 万紀子 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-1503</p>
--	---